平成30年6月1日

らいかい恵子 議員便り 195号

合志市議会議員　来海恵子　合志市幾久富1642－38　☎ 090-9655-1143

アジサイが、鮮やかな季節です。私は園芸が趣味なのですが、世界で一番ナメクジが苦手で気持ち悪いです。(笑) 私の願いは、協力しあって良か合志市をつくることです。みなさん、仲良しになってください。m(_ _)m 毎月、来海は一人で歩いて議員便りを 8,000 枚配っています。

大丈夫！ 一歩踏み出す勇気持とう

初の女性部長誕生！

渡邉和代市民生活部長

来海：4月の人事異動で、合志市初の女性部長（渡邉和代市民生活部長・後藤圭子健康福祉部長）が誕生されました。国は、管理職の30％を女性にする方針を出しています。しかし、私は渡邉部長は議員になって17年間、後藤部長は合併して13年間お二人を見てきて、委員会や一般質問の答弁が的確、仕事の姿勢が積極的で市民や部下を大切にしている等とても優れていらっしゃいます。男女共同参画の配慮も若干あるかもしれませんが、私は実力で部長職を勝ち取ったと思います。昇進おめでとうございます！まずは、お二人の所属と仕事の信条を教えてください。

渡邉：4月から新しく創設された市民生活部は、市民課（本庁・泉ヶ丘支所・須屋支所）、税務課、環境衛生課、西合志総合窓口課を管轄しています。私は窓口業務が長かったので、常に現場第一主義で部下の声を聞くことを心がけています。課長試験の時に、「課長が鼓舞すれば、部下も鼓舞する！」と論文に書きました。やり過ぎも良くないけど、自分が実践している姿を見せないと下が動かないのが経験上からあります。口先だけじゃ、誰もついてきません。それが、裏返せば市民のためになると考えています。

来海：私も、子ども達に大人の本気を見せたくて頑張っています。(笑)

後藤：健康福祉部は、福祉課・高齢者支援課、保険年金課、子育て支援課、健康づくり支援課（ヴィーブル）、女性・子ども支援課（ヴィーブル）、包括支援センター（ヴィーブル）を管轄しています。部長になったからじゃなくて、私たちの年代は下の職員を育てることが役割の一つかなと渡邉部長ともよく話しています。仕事って人材と思うので、姿勢を見せてあげて良い職員を育てたい。ひいては、まちづくりでしょう！

後藤圭子健康福祉部長

部長としての抱負

来海：私はお二人が先頭に立って頑張っているのを、いつも柱の陰から見ています。(^_-)-☆退職まで後1年、新たな決意というか抱負があればお聞かせください。

渡邉：私の集大成として、部下の教育・指導をしていきたい。
自分の経験上、良いことも悪いこともあるけど、部長だからと上から目線でなく職員に備えておかないといけない能力を伝えていきたい。常に市の財政を頭に入れながら仕事をやっていくことなど。同規模の自治体に比べて、職員数が少ないことも善し悪しです。

来海：たしかに、余裕はないですね。予算の全体像だけでも把握すれば全体像が見えてくるし、また、仕事にはスピード感を持ってほしいですね。

後藤：福祉課と女性・子ども支援室に課長になって4年間いて、「職員大丈夫かな！」という仕事に追われている姿をずっと見てきたので、楽しく仕事をしてほしい。明るい職場にしたいです。

渡邉：環境づくりは上司がしなくてはいけないんですよ。部長になった以上は総合支援職なので、部を超えてでも意見を言わなくてはいけない時もあります。人の管理と仕事の管理を、しなくてはいけないと思っています。

男女共同参画について

来海：男女共同参画について、どのように考えられますか？

後藤：10年前と、ほぼかわっていない現実があります。管理職が増えたから、男女共同参画が進んだのか？そうでもない！数値が、男女共同参画の目標ではありません。10年前と比べて、家庭は少し進んでいる気がします。

渡邉：男女共同参画は男だから・女だからではなく、お互い人間として尊重しながら、やれ

る人がやって、何でも手助けしていく、家庭も仕事も。市役所の女性意識は、私たちの若い頃は仕事で政策に携わる配置がほとんどなかったし、女性の採用も少なかったです。それから、だんだんと女性の採用が増えてきました。なんで女性の管理職が少ないかと考えると、一つは自信がないから。100%やれなくていいのに、「いやぁ、私は･･･」と引いてしまう。選択肢はあるものの、「そうじゃない、私達も最初からできた訳じゃないよ。なったら、なったで、やっていかないといけない！」市役所の中の男女共同参画は、互いを認め合って切磋琢磨していかないといけません。家庭の男女共同参画の協力ができているところもあるが、中々進まないところもありますね。

番号札で呼ばれる市民課窓口

来海：16年間職員を見てきて、仕事のできる人は男女関係ないと思います。特に委員会や報告などで、理解して貰うためには口先だけの説明でなく、めんどくさがらずに事前に資料を用意するのかで大きな違いがあります。議会も保守的なところがあるので、「女性が得してる！」「女のくせに！」と言われないように襟を正して頑張らないといけないと肝に銘じています。

渡邊：女性管理職になるという事は、男性よりも努力しないと認められないところがまだありますね。

来海：部長に昇進されたときに、市長からお言葉はなかったですか？

渡邊：庁舎が統一されたので市民に不便がない対応と、管理職としての女性職員の意識改革の研修を積極的にやってほしいと言われました。

来海：市長とお二人は、菊池高校の同級生と伺いましたが。

渡邊：後藤部長とは話したことはないけど良く覚えていて、勉強ばかりしてたよね。私と荒木市長は、バレー部でした。(笑)

後輩にエール！

来海：後に続く女性職員に、エールをお願いします。

後藤：大丈夫、男女に関係なくやればできる！

渡邊：突然、班長や課長になるときがある。先輩の姿とか、自分が班長ならどう判断しない

といけないかを、主幹から班長への勉強期間時に常に意識を持ち職責を全うしてほしい。

後藤：健康福祉部にいて人が少なくて大変なのはよく分かるけど、目の前の仕事のことだけでなく視野を広く持ってほしい。日頃から、そういう視点が大事かな。突然昇進の話があっても、勉強して自信があるなら大変さが違う。普段から目の前の、たとへば福祉なら福祉の事だけじゃなくて、まちづくり等にも目を向けてほしいです。

来海：ありがとうございました。憧れの部長として、後輩のためにも頑張ってください。

大山高齢者支援課長誕生！

大山由紀美高齢者支援課長

来海：大山さんには、合併後に議会事務局で大変お世話になり感謝しています。泉ヶ丘支所に4年間いて、熊本地震時は避難所になり大変だったでしょ？

大山：余震時は、鍵を持っていたので1番乗りして泉ヶ丘市民センターの鍵を開けました。

来海：日常の業務と、避難所の運営と頑張りましたね。高齢者支援課の課長になられて、おめでとうございます！抱負をお聞かせください。

大山：まずは、高齢者支援課長の業務と合志市の状況を把握したい。今日も、100 歳を迎えられた方にお祝い金を自宅にお届けして、お話を伺いました。

プライバシーが守れて相談しやすい窓口

来海：高齢者支援課は、事務作業だけでなく、包括支援センターを抱えているので大変だけど頑張ってください。地震時に、避難所で対応できたのだから大丈夫ですよ！！

大山：日々緊張しながら、業務に追われています。

来海：隣に心強い後藤部長がいるので、相談されると良いですよ。

後藤：私にできることは、何でも相談にのるので聞いてください。

大山：来海議員、まずは一般質問お手柔らかにお願いします。

来海：はい、私はいつでも優しいですよ。アハハハ(^_-)-☆

〒861-1112 合志市幾久富 1642-38　来海恵子　☎ 090-9655-1143

Mail rai-ok@nifty.com　http://raikaikeiko.info/